

| | | | |
|--|---|---------|-------|
| 年度 2007 学期 後期 | 曜日・校時 木 2 | 必修選択 選択 | 単位数 2 |
| 授業科目/(英語名) | 経済と経営 (経済政策入門) Economics and Business (Introduction to Economic Policy) | | |
| 対象年次 1・2年次 | 講義形態 講義 | 教室 | |
| 対象学生(クラス等) 全学部 | 科目分類 人文・社会科学科目 | | |
| 担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 宍倉 学 / Eメールアドレス: shi1204@nagasaki-u.ac.jp /研究室: 経済学部東南アジア研究所 203/ オフィスアワー: 火(12:00~14:30)・金(16:30~18:00) | | | |
| 担当教員(オムニバス科目等) | | | |
| 授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 公共部門の活動の現状と問題点を理解し、政府のあり方を自ら検討するための基礎知識の習得を目指す。 授業方法: 授業中に配布する資料をもとに講義をおこなう。また理解を助けるために授業中に演習問題等を解くことがある。 授業到達目標: 新聞等で話題になる各種経済政策のバックグラウンドとなる制度・歴史・理論を把握できるようになることを目標とする。 | | | |
| 授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 政策や制度の具体的内容とこれらが有する経済的な意味や現在抱える問題点を、経済学の基本的なフレームワークを活用しながら考察してゆく。第2回から第4回目までは主にマクロの観点から経済政策の役割と現状について検討した後、第5回以降から個別のテーマについて検討を行ってゆく。特に5・6回は財源である税について検討し、第7回から第14回までは支出面に焦点を当て、各制度の現状と問題点について検討を行っていく。 第1回 ガイダンス(公共部門の役割) 第2回 財政の現状 第3回 経済成長 第4回 所得格差 第5回 所得税 第6回 消費税 第7回 年金・社会保険 第8回 医療 第9回 教育 第10回 エネルギー 第11回 環境 第12回 情報通信 第13回 交通 第14回 規制緩和 第15回 定期試験 | | | |
| キーワード | | | |
| 教科書・教材・参考書 | 教科書は指定しないが、以下の参考書を並行して学習すれば理解を深める手助けとなる。 J.E.スティグリッツ著 藪下史郎訳 「公共経済学(第二版)」(上)(下) 東洋経済新報社 | | |
| 成績評価の方法・基準等 | 定期試験の成績による。また、講義の進展に応じてレポートを課し評価の一部とする。 レポート: 40% 定期試験: 60% | | |
| 受講要件(履修条件) | | | |
| 本科目の位置づけ/学習・教育目標 | | | |
| 備考(準備学習等) | 理解を深めるためにも、各テーマに関連した新聞記事や雑誌には十分目を通しておいください。 | | |